



【取組内容】

- **SDGsを踏まえて行動できる人材を長野県から育てる** ために、SDGsの啓発や推進に向けた様々な活動を実施。特に**2030年に社会の主役となる子どもたち**をプロジェクトの中心に置いている。
- 教育現場での取組として、「**先生が学ぶセミナー**」の開催、「**オリジナル教材**」の開発・配布、SDGs専門家が学校に出向く「**出前授業**」、また子どもたちがSDGsへの取組を宣言し、行動するためのプログラム「**みんなのSDGs宣言**」等を展開。
- 企業や県民に向けた活動も同時展開しており、経済団体、企業、教育機関、NPO、行政機関が連携。また、**30を超える企業、50を超える自治体が協賛・賛同し、全県をあげたムーブメント**となった。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性：	未来をつくる「子どもたち」（学校現場）を啓発活動のメインターゲットに据えることの重要性は、国内外での普遍性がある。
包摂性：	子どもたちに限らず県民や企業など様々な立場の人を対象とする。開発した教材は、ウェブで無料ダウンロード可能。
参画型：	自治体、経済団体、民間企業、学校など様々なステークホルダーが自身ではカバーできない領域を補い合いプロジェクトを運営。
統合性：	事業原資は企業等からの協賛金であり、協賛を通じたSDGsへの貢献と企業のブランディングが同時に達成できる仕組みに。
透明性と説明責任：	定期的に新聞での特集を展開し、活動報告や告知を掲載。公式ウェブサイトでは全活動について実施レポートを作成し、掲載。

